

会議の名称	第3回 鳥海地域協議会
開催日時	平成17年12月21日(金) 午後4時00分
開催場所	由利本荘市 紫水館 総合研修室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	(次葉 取消線の者)
<p>(会議次第)</p> <p>1. 鳥海地域協議会会長あいさつ</p> <p>2. 鳥海地域自治区長あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p> ①「由利本荘市総合発展計画基本構想」について</p> <p> ②地域協議会委員としての要望事項について</p> <p> ③その他</p> <p>4. 鳥海総合支所長あいさつ</p>	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(委員30名)

鳥海総合支所

区 分	氏 名	区 分	氏 名
地域協議会委員	佐藤 昭市	鳥海地域自治区長	佐藤源一
地域協議会委員	佐藤 睦大	鳥海総合支所長	佐藤善昭
地域協議会委員	佐藤 久市郎	主幹兼振興課長	村上誠喜
地域協議会委員	佐藤 弓乃子	市民課長	土田修
地域協議会委員	池田 由身	福祉保健課長	三浦俊雄
地域協議会委員	藤原 茂	産業課長	佐藤富栄
地域協議会委員	佐藤 栄喜	建設課長	佐藤傳一
地域協議会委員	村上 征悦	鳥寿苑主席参事	佐藤文範
地域協議会委員	佐藤 源衛	鳥海診療所事務長	佐藤博栄
地域協議会委員	太田 美和子	教育事務所長	豊島よし子
地域協議会委員	高橋 堅幸	生涯学習課長	佐藤覚栄
地域協議会委員	佐藤 まゆ子	鳥海水道事務所長	小沼昇揮
地域協議会委員	真坂 重孝		
地域協議会委員	周防 彦宗		
地域協議会委員	新田 宗由		
地域協議会委員	佐藤 一太郎	【事務局】	
地域協議会委員	佐藤 吉則	振興課主席参事	佐藤秀孝
地域協議会委員	佐藤 貴子	〃 主 査	高橋進一
地域協議会委員	鈴木 充		
地域協議会委員	大友 あつ子		
地域協議会委員	栗田 哲栄		
地域協議会委員	三森 ハマ		
地域協議会委員	佐藤 つぐみ		
地域協議会委員	松田 訓		
地域協議会委員	本多 久平		
地域協議会委員	村上 陽子		
地域協議会委員	村山 正顕		
地域協議会委員	鈴木 文		
地域協議会委員	藤原 友一		
地域協議会委員	真坂 孝衛		

(会議の経過)	
第3回 鳥海地域協議会	
平成17年12月21日(水) 午後4時00分 開会	
振興課 佐藤主席参事	(開会) 「ただ今より、第3回鳥海地域協議会を開会いたします。 はじめに、松田 鳥海地域協議会長よりご挨拶申し上げます。」
会 長	「大変お疲れのところ、またさらにご難儀かけますけれども、ひとつよろしく お願いします。今、三位一体改革、小泉改革が進んで参りまして、いろんな形 で見えて参りましたが、ある意味では非常に寒々とした感じもする昨今でござ います。しかし、この地域協議会ではお互いに意見を出し合いながら、何とか 今までより後退しないように頑張っ参りたい。今日は市長さんの「新市まち づくりを語る会」ということで、これに合わせて急遽、この会を開くことにな りました。では、これより開会いたします。よろしくお願いします。
振興課 佐藤主席参事	「続いて、佐藤 鳥海地域自治区長よりご挨拶申し上げます。」
佐藤区長	委員の皆様には、三つそろってという方々もおられるかと思しますので、大変 ご苦勞様でございました。行政協力員会議の際に、本庁総務部の方から行政協 力員制度の廃止ということでいろいろと説明がありましたけれども、行政協力 員の皆さんからは、これではちょっと納得し難い、承服できないというような 意見が出されておりました。私どもも12月の市議会の後で、議会の皆さんの全 員協議会で初めて知ったような状況であり、その中でもこのことは時期尚早で はないか、もう少しいろんな場面で意見を聞き、それから進むべきではないか というような状況でありましたし、そういうことも踏まえながら、今日は、前 回の協議会でいろいろご意見をいただきました市の基本構想が議会で可決され ておりますので、その確認と、日ごろ、委員の皆さんがその地域や団体等で いただいている意見、要望等を出していただきながら進めて参りたい。ひとつよ ろしくお願いを申し上げます。
振興課 佐藤主席参事	「続いて会議に入らせていただきますが、会議の議長は規定により会長が務め ます。」
議長	「それでは暫時の間、進行役としてこの会を進めさせていただきます。本日の 協議会では、参会の通知にもありましたように、市の総合発展計画の基本構想 について、並びに地域協議会委員としての要望事項です。特に第2回の地域協 議会で説明のありました市の基本構想は、皆さんのご意見を踏まえて調整し、12 月議会に提案し、この16日に決議を得られたとのことであり、地域協議会委員 の皆様はその最終版をお配りしております。 各地域協議会の内容については、先に資料をお送りしているところでありま すが、そのやりとりについて、資料を入手しておりますので、事務局より報告 させます。 それでは、事務局から説明願います。」
振興課 佐藤主席参事	「先に皆様に由利本荘市総合発展計画・基本構想案への意見に対する対応とい うようなことで、冊子をお送りしております。それで、各総合支所から地域政 策課に出されました意見等についてですが、本荘総合支所では会議のほか に、後日の意見として「少子高齢化対策は重要課題であることから、福祉事業と合

わせ、育児相談、学童保育、老人ケア、ニート対策等を具体的に記述すべきだ」があったと。その他、高橋委員から発言のございました組合病院跡地については「現文化会館を含めた総合的な開発計画については前倒しする方向でローリングをお願いしたい」、それから「組合病院跡地に、ぜひ新市の顔として市民が気軽に利用できる文化交流の場として子供館、図書館、音楽ホール、コミュニティ放送局などが街の中にできることをおおいに期待している」、そのような発言もあったようでございまして、これが基本構想の中に盛り込まれるということでございます。今日の会議につきましては、委員の皆様からの要望というところを重点的にお願いしておりますので、そちらの方をまずお願いしたいと思っております。」

議長

「基本構想につきましては、1月の後半でも意見を伺う機会があるとのことですがありますけれども、今日はここで、それぞれの委員個人として、あるいは地域としての要望事項ということでご発言願いたいと思っております。一つ目は地域要望、もう一つはこの地域協議会のあり方ということで。」

A委員

「今日の行政協力員会議で市の方から説明ありましたが、行政協力員についてこの協議会で要望できないものかなど。名称はどうであろうと行政にかかわる方が妥当ではないか。もう一つは待遇。特に報奨金ですが、鳥海は高い訳だが、行政協力員手当が単純計算で4割ぐらいの減になる。私の集落では手当を町内会の運営資金に充てて、利用している。かと思えば、地域振興交付金もやたら減るといことで、このままでいけば、納税報奨金に代えて振興交付金で行政から支援してもらったいたものが、地域の運営に大変な支障が生じてくる。ぜひとも地域協議会で要望してもらえれば。それから、集会施設建設費等補助金要綱の中で下水道排水事業については、供用開始3年以内となっているが、向こう2年、3年間とか入れてもらえれば。集会施設は公共的な施設であるので、供用から3年となると公平さに欠けるような気がしてならない。」

議長

「早速、3点ほど、出されましたが。」

佐藤総合支所長

「大変ご苦労さまでした。皆さん全員が行政協力員会議に出ている訳でもないので、若干話を戻しながら。行政協力員の制度の廃止ということですが、由利本荘市合併の際に行政協力員に関する条例が公布されている。ただし、一市七町のやり方が違っていた関係上、平成17年度については今までどおりでということでした。合併後に調整という話でしたが、議員の在任特例期間でも何も出なかった課題でありました。それが今回、新しい議員さんによる12月議会定例会の最終日に、基本的に協力員制度の廃止と。そこでも、なぜ今、急ということ、あまりにも急変するのではないかという心配がありまして、市長から直接、翌日に、各行政協力員の会議があるのだから、そこで意見を聞くようにという指示があったと。本荘では行政協力員の役員会という中で進められたそうです。それも今日、鳥海地域であったように、皆さん反対だという意見が多かったと伺っています。いずれ、この制度がなくなることによって、今まで培ってきた行政と町内会、そのパイプがなくなるとは困るという話です。今回の提案では、何でも混ぜて町内会にお願いしたいということでしたが、これでは問題があるということ。この鳥海地域で考えますと、今年まで自治会関係の交付金で600万円、行政協力員手当で200万円、合わせて800万円ぐらいの減額になるということ。平成18年度の予算の組み方としては、均等割25,000円と世帯割700円ということ、鳥海の場合、均等割は500円上がりますが、世帯割は1,300円下がるという、大幅なダウン。総務部ではあくまでも平成17年

度で予算計上した 3,200 万円、その中で抑えようという格好になっています。これについては明日、区長会議もありますので、そのあたりでも協議をお願いしたいと考えています。住民自治活動支援交付金事業については、あまり強くも言われぬのかなと思っています。」

B 委員

「一気に減らされれば大変だ。合併とはこんなものだろうか、となる。確かに市民に協力してもらわなければならないということはわかるが。そして、これで決まったというのはいつわかるのか。部落の予算も立てなければならない。」

佐藤総合支所長

「そもそも、急には変わらないという基本的な考え方があったのですが、先ほども申し上げたように、特に行政協力員の関係については、分科会止まりで、専門部会、幹事会には上がってこなかった。合併後、調整するとしていたが、これだけではなく、我々の方に聞こえてこないものもあり、この部分が最終的に予算化するのには3月の議会でありますので、それまでの間に各地区を回っていると。」

佐藤区長

「このことについては、明日、区長会議もありますので、うちの方では行政協力員会議、地域協議会でも意見を聞いているということで説明します。」

議長

「さっき、下水道排水にかかる補助金に対する要望もありましたが。」

佐藤建設課長

「すでに供用が開始されていて、何らかの事情で本管に接続されていない集落会館がありますので、備考に「合併後3年以内とか、要綱交付後3年以内」ということも入れていただかないと、補助を受けられないということになりますので、この文言をいれてほしいと思います。」

議長

「その方向でよろしいですか。ほかに、どうぞ挙手して。」

C 委員

「今日は3回目の会議であり、委員の皆さんはいろんな分野の方々が参加され、それぞれのアイデアを出している。私は鳥海町がとてもよい所だと、鳥海の農産物を食べたい、ほしいという人がたくさんおります。私たちはそれぞれの仕事をしながら、それに気づかない人がいるのではないかと。もう一つは作っても売り方がわからない。都会から関係者も来ている。この鳥海の自然の中で育てたものが安全・安心でおいしいんだと。私は、何とか鳥海の活性化のために、この会がいろんな分野の意見を出し合えるような時間を多くする必要があると思います。」

議長

「我々も気づかないこともいっぱいありますが、刺激を受けて自信を持つために、この会としても何かできるのではないかと。ほかに。」

D 委員

「要望書にも書きましたが、この会の基本的な考えもあると思いますけれども、地域の要望や課題について、もっと時間をかけて協議すべきだと。この会の意義というもの、今日も時間がない。こういう中では議論もできないと思うので、何とかその点を熟慮いただきたい。この会の存在、目的を達成できるような、地域の柱となっていけるような会にしたいと思います。」

議長

「今年はこれで終わりますが、新しい年になったら、夜の会議だけでは時間がないので。」

E 委員	「行政協力員をなくすということは、金銭の問題よりも地域と行政との関係を第一に考えないと。すぐに町内会長ということではなく、部落の行政協力員へという形でなければ。平根の場合、町内会となると大きく、今までの行政協力員のように動けないとなれば、行政とかけ離れてしまうのではないか。名前をなくすことには抵抗がある。」
佐藤区長	「町内会は任意の会。会長になった人に行政協力員をお願いすれば済む話。配布をどうするとか、あとはその集落ごとで決めてもらえれば。」
F 委員	「合併して間もないものですから、一市七町でやり方が違うという中で来年から同じようにスタートする。これはいきなり変えないで、暫時調整しながら、本荘でやった、鳥海でやったと言ってもどっちが妥当か、会議を重ねて、方向性が出てからでないかと非常に困る。そこで初めて住民に説明できる形でないと。私は農業だが、農業総合指導センターで農業関係者が集まって鳥海の農業振興のための指導をしていこうとやってきたが、新市にも形はできたことになったが、新市の方が実態がない。支部の方で活動しようとなっても、本部がない。そういう状態。大方、そういうことでないかと思う。だから、こういう所に出てくる以前に、会長さん方とか実務者の方々がいろいろ協議をして、新市が全体としてこういう方向でいこうと説明できる体制づくりをお願いしたい。」
議長	「この地域の要望としては、行政協力員をすぐなくすのではなく、段階的に、住民との関わりをもってから検討してもらいたいと。農業総合指導センターとのことも、地域としてあげていくということで、ひとつよろしくお願いします。地域協議会のあり方については、夜の会議だけではほとんど話ができない。来年からは昼の会も計画して、じっくり話し合う時間を持ちたいと。存在意義を高めていかなければ、何のための会か、という話が出ましたので、そのあたりも。まだいろいろあると思えますけれども、この辺で終わりたいと思えます。よろしいでしょうか。」
(一 同)	「はい。」
振興課 佐藤主席参事	「それでは、鳥海総合支所長から締め挨拶をお願いします。」
佐藤総合支所長	「明日、区長会議があります。今日、この会で出ました行政協力員の制度への意見、それから連合PTAから出ております、高校へ通学する生徒への支援、直根小学校の複式学級にならないよう教員の加配、それと全学校の図書室に兼任でもいいから図書司書の配置をお願いしたいという要望など、いずれこの協議会の要望等については、区長がこれを出すという形になっておりますので、この後もひとつよろしくお願いします。今日はどうもありがとうございました。」
振興課 佐藤主席参事	「第4回の協議会については市総合発展計画の基本計画の素案についてご協議いただくことになろうかと思います。開催時期は1月後半を予定しておりますが、冬期の交通事情を勘案いたしまして、昼過ぎの開催を計画したいと思えます。その際は本庁各部から部長級1名ずつが出席の予定となっておりますので、委員の皆様には繰り合わせてご出席くださるようお願いを申し上げて、これをもちまして第3回地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。」
(終了 午後5時15分)	